

茨城県稲敷市立沼里小学校 (学校長 墳崎 一)

実施日	平成19年12月4日(火)	時間	午前10時40分～午後1時30分
実施場所	5年生教室、プレイルーム	対象/人数	5年生82名
担当教諭	辻井 美幸	ファシリテーター	小林 郁子
講師	西山 ルミアナ(ブルガリア) 蔡 碧月(台湾・留学生) チャクル ムラット(トルコ・留学生) ジョナサン・マイケルズ(アメリカ 県国際交流員)		

活動内容

各国の文化(国の位置・国旗・簡単な日常語・生活や食べ物・学校の様子)
各教室で給食を食べながら交流

児童の感想

・ワールドキャラバンでは、トルコ、アメリカ、ブルガリア、台湾の先生が来てくれ、その国にふれることができました。特に、トルコの先生は、パソコンを使って分かりやすく説明してくれました。トルコのお城に伝わる話の紙芝居もしてくれとても楽しく見ることができました。ブルガリアは、ヨーロッパでもとても古い国だということを知りました。アメリカや台湾の先生も、遊びを教えてくださいいっしょにすることができ、楽しく過ごすことができました。いろいろな国の先生と話ができ、今まで知らなかったことも聞くことができ、とても良い交流会になったと思います。

先生の感想

・とにかく楽しく温かい雰囲気の中で活動できたことが一番でした。それは、コーディネーターの先生を始め来てくださった先生方が、子どもたちのために一生懸命お話してくださったから・・・この日のために、子どもたちのことを思いながら準備してくださったから・・・また、それ以上に自国を愛する気持ち、そしてそれと同じように日本の子どもたちを思う気持ちがあるからこそだと感じました。これこそが国際理解教育につながるものではないでしょうか。子どもたちはそんな雰囲気の中で、自国である日本についてと変わりなくそれぞれの国について新しく知り、理解することができたと思います。

成果と課題

・成果としてまず第一にあげられるのは、調べ学習では得られないものを得ることができたということです。食べ物やジャンケンなどの遊びに關す

ることなど、子どもたちにも身近な文化に触れることができました。また、国旗の意味や国の歴史などについても簡単に分かりやすく説明してください、子どもたちはその国についてより深く理解することができました。また、話を聞いて疑問に思ったことをその場で質問し答えてもらうというやりとりが、外国の方と触れ合う機会が少ない子どもたちにとってはよい経験になりました。

子どもたちには「またやりたい。」という思いが生まれ、今回1回の活動で終わってしまうことが残念でした。次年度は今回の活動を生かし、計画的に時期と内容を考慮し行えたら、より効果的な活動になるのではないかと思います。

